

＜ 家 庭 ＞科 学習シラバス

科 目	保育基礎	学年・コース	2年生スポーツ &カルチャー	単位数	2単位	教科書	保育基礎（実教出版）	
学習の到達目標		・保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解する。 ・保育に関する知識と技術を身に付け、保育や子育て支援に寄与する資質と能力を養う。						
評価の 観 点	A 知識・技術		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評 価 の 内 容	保育の重要性と意義を理解し、保育に関する基礎的・基本的な知識を総合的に身につけている。		子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、家庭だけでなく地域や社会の支援体制も重要であるという考え方ができる。		子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。			
評 価 の 方 法	・学習活動における発言内容 ・実習における技術や態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査		・学習活動における発言内容 ・実習における技術や態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査		・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート、プリント類			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点		
			A	B	C			
1 学 期	4	1章 子どもの保育 1 保育の意義	・保育の意義と重要性について理解し、保育が人間形成にどのように関わるかを考える。 ・保育者にはどのような資質が求められるか、保育者観についての考察を深める。 ・保育環境の特徴や役割を理解し、適切な保育環境について考察する。 ・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個性といった特性があることを理解する。 ・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴を捉え、人の発達の過程を理解する。 ・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係の広がりについて考える。 ・壁面製作実習	○	○			
		2 保育の方法 3 保育環境		○	○			
	5	2章 子どもの発達 1 子どもの発達の特性		○		○		
		2 子どものからだの発達		○		○		
	6	3 子ども心の発達		○	○			
	7			○	○			
2 学 期	8・9	4章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支える場	・児童文化財や児童館など子どもの文化を支える場が、子どもの発達とどのような関りを持つか、その意義について理解する。 ・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを、遊具製作等を通して理解する。 ・手作り絵本の製作 ・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身に付ける。 ・保育体験 ・基本的生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。 ・子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例と合わせて理解する。	○		○		
	10	2 子どもの遊びと表現活動		○		○	○	
		3章 子どもの生活 1 子どもの生活と養護		○		○	○	
	11	2 生活習慣の形成		○	○			
		12		3 健康管理と事故防止	○	○		
3 学 期	1	5章 子どもの福祉 1 子ども観	・子ども観は、国や地域、時代によって変化していることを理解する。 ・児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える ・子育て支援の具体的な場や制度について理解するとともに、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。	○		○		
	2	2 子どもの福祉		○	○			
		3 子育て支援			○	○		
	3							
学習のポイント		・知識の習得と技術の向上のため、授業に真剣に取り組み、意欲的に実習する。 ・実技に伴う配点が高いので欠席をせず、提出物は期限を守って提出する。						